

# 「第 11 回技術者倫理セミナー」報告

R7.8.23

倫理小委員会（委員）池谷 聖

再認識された倫理的な考えや活動について講演を行っていただきました。

50歳で企業を退職後、個人事業主として活動されている長原氏ですが、情報系の知識やこれまでのキャリアを生かして、中国本部の倫理委員会だけでなく、統括本部の活動も含めて13もの役割を任されている非常に多様な方で、ご自身の経験を基にした講演は参加者にとって大変興味深い内容でした。

企業を退職されるまで、ご自身では技術者倫理を意識していなかったとのことですが、コンピューター黎明期に経験した経験と、当時の企業が定めていた行動倫理をとおして、経験してきた事例を倫理的な考えに照らし合わせて紹介していただきました。特に、『IBM 産業スパイ事件』など、意図しない形で訴訟問題となった時に企業がとった行動やその後の信頼回復など、実務的な事例は参加者にとっても関心がある内容だったと思います。

独立後、工学倫理の非常勤講師として、倫理を体系的に考えることになり、講義を組み立てることについて紹介をいただきました。

最後に、長原氏の経験から、『不祥事が多い企業には決定権が上にある』という特徴の説明がありました。技術者倫理がうまく機能している企業では上司が責任をとれる体制が機能しているとして、『部下の動きが見えているということであり、部下を信頼しているということ』として、良い上司となることが組織として重要であると、提言していただきました。

## 〈セミナー2〉

演題：「技若手技術者と考える技術者倫理」

講師：日本技術士会四国本部倫理小委員会

副委員長 横山 成郎 氏

セミナー2 では日本技術士会四国本部倫理小委員会副委員長の横山氏から、技術者倫理の体系的

## 【はじめに】

令和7年8月23日（土）にサンイレブン高松1F第4研修室において、第11回技術者倫理セミナーを開催しました。セミナーの参加人数は22名でした。



倫理セミナーの状況

## 〈セミナー1〉

演題：「技術者倫理の涵養と企業内技術士～私の研鑽経緯を中心として～」

講師：日本技術士会中国本部倫理委員会

副委員長 長原 基司 氏



長原氏の発表の様子

セミナー1 では日本技術士会中国本部倫理委員会副委員長の長原氏から、企業在籍時の経験や技術士取得後の活動を振り返り、ご自身の経験から

な説明と、創作事例を基にグループワークが行われました。



### 横山氏の発表の様子

まず、技術者倫理の概念について、モラルと倫理の関係、法と倫理の関係についてわかりやすく解説を行い、技術者倫理がなぜ必要なのか説明がありました。倫理は規範であり、それが順守されるには、順守しようというモラルの意識が必要である。倫理的な行動には、モラルの意識の働きがある。問題に出会ったとき、モラルの意識が働き、倫理的な行動に結びつく。法と倫理は互いに足りないところを補う関係であり、モラルを源泉として倫理行動を起こされるなどでした。

倫理行動は人や立場で異なるものであり、対話を行い、倫理行動の最善の策を模索することが重要であるとのことでした。

技術者倫理の必要性について、技術者には社会における技術者の役割に期待があり、①科学技術の気概を抑制する、②公衆を災害から救う③公衆の福利を推進する。という3つの事情について紹介がありました。

2023年に改定された技術者倫理綱領に関する話がありました。これまでは予防倫理の観点から倫理がありましたが志向倫の観点も取り入れられている点が改定の特徴でした。

### 〈技術者倫理グループワーク〉

講義のあと、セミナー参加者を4班に分け、グループワークを行いました。グループワークは、「駐車場に植えたばかりの木」と題する事例について、この事例を解決するための課題と解決策、最善策を協議、検討するものでした。

グループワークでは各班様々な対策が提案され

ました。一つの事例に対して、多様な視点から問題点を考察し、問題を解決するための最善策を十分考察し、議論することの重要性について再認識されるグループワークとなりました。



### グループワークの討議と発表状況

#### 【アンケート結果】

本セミナーのアンケート結果は、別途添付するアンケート集計結果のとおりです。アンケートは22名の提出でした。

参加者の感想として、全体的に「目的は達成された」、「今後も参加する」という意見が多くありました。

参加者の特徴として、初めて参加される方が半数以上を占めていることと、年齢層が30代、40代の若い参加者が30パーセント以上など、若い技術者を含めて倫理への関心が高まっていることがうかがわれます。

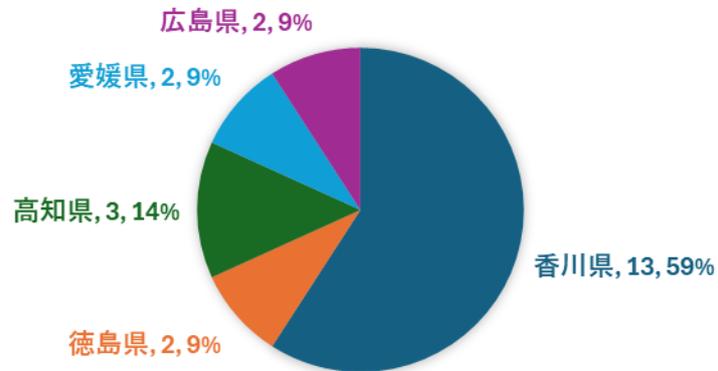
自由意見ではグループワークの時間に対する記述が多く、もっと長い方がいいという意見が多数ありました。また、実務的に利益相反が発生した際の事例を知りたいなどの意見もありました。

#### 【おわりに】

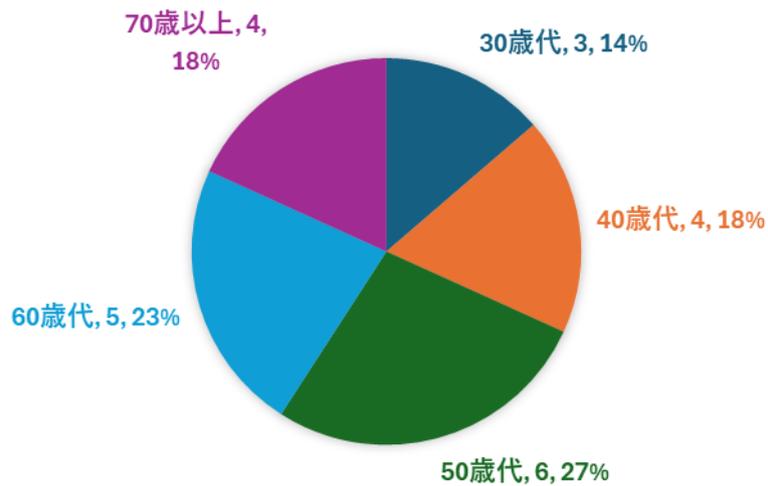
技術者として実務に携わる際には倫理行動を伴う場面が多くあります。過去の事例などから倫理的な行動を学び、体系的に倫理を理解することが重要だと思います。倫理委員会では、そういった知識を習得し、一般会員が倫理を学べる機会を提供し、参加者に有意義と思ってもらえるセミナーを開催する必要性を感じました。

—以上—

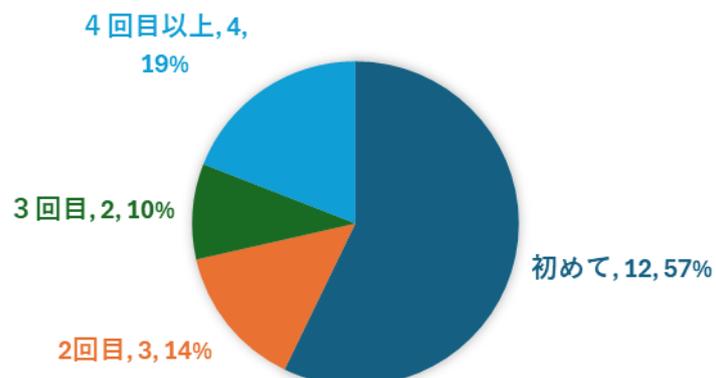
### Q1. あなたの主たる活動地域を教えてください



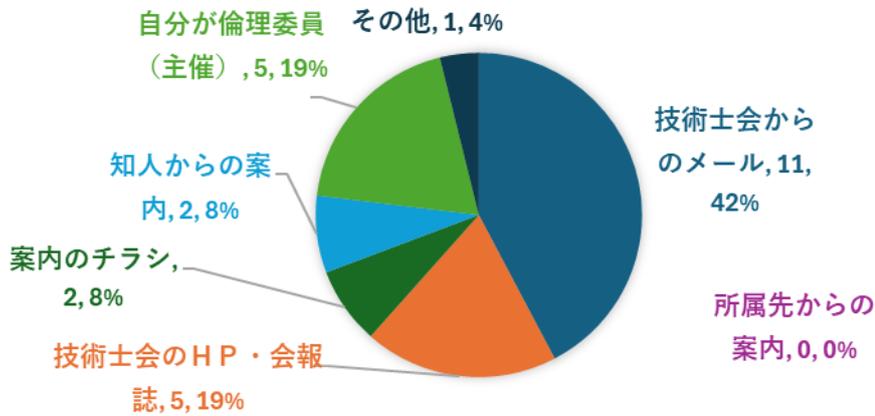
### Q2. あなたの年齢を教えてください



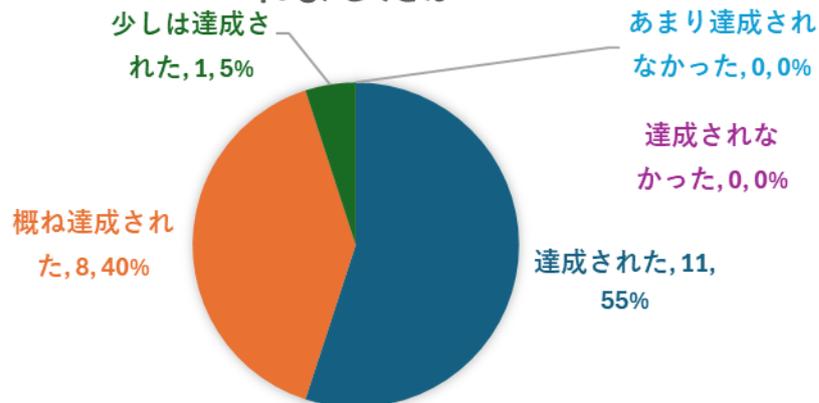
### Q3. 「技術者倫理セミナー」への参加は、今回で何回目ですか



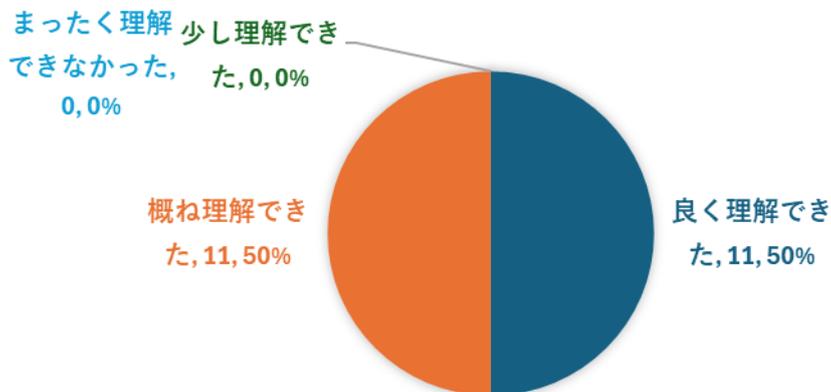
### Q 3. 「技術者倫理セミナー」への参加は、今回で何回目ですか



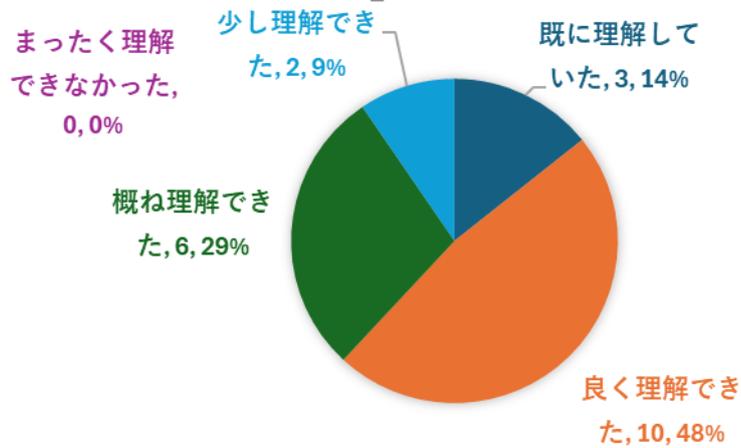
### Q 5. セミナーに参加して目的は達成されましたか



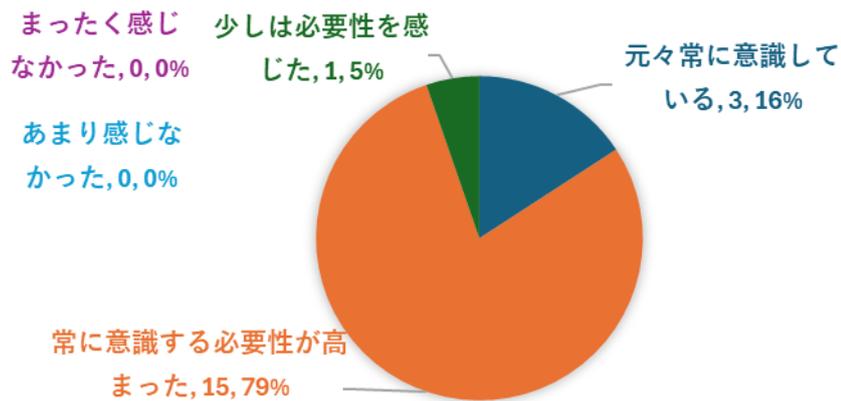
### Q 6. 【講義】「技術者倫理の涵養と企業内技術士」について



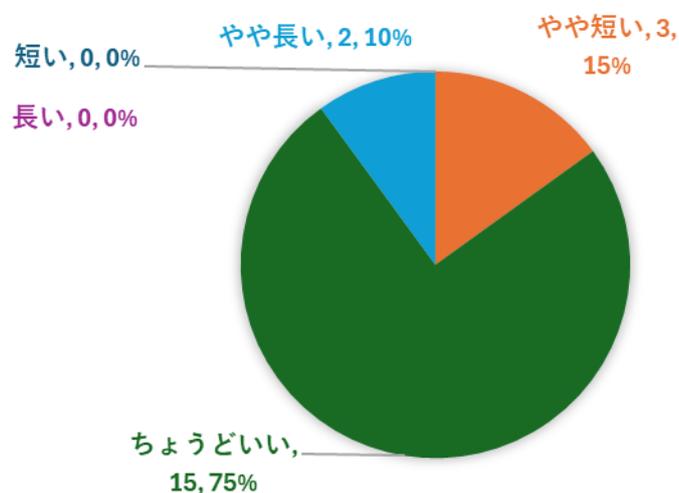
### Q7. 【講義】「技術士倫理綱領の改定」について



### Q8. 【グループワーク】技術者倫理の意識について



### Q9. セミナーの時間について



## Q10. 今後のセミナーへの参加について

